

○ 葉の構造

しゅみやく ちゅうおうみやく
主脈(中央脈)

さいみやく
細脈

そくみやく
側脈

そくみやく
側脈

- 単葉 葉身が1枚だけの葉のことをいいます。
ぜんえんからしんれつするものまでいろいろあります。



ぜんえん 全縁



せんれつ 浅裂



ちゅうれつ 中裂



しんれつ 深裂

- 複葉 葉身が2枚以上の葉のことをいいます。
複葉についている葉身の1枚1枚を小葉といい、その柄を小葉柄といいます。

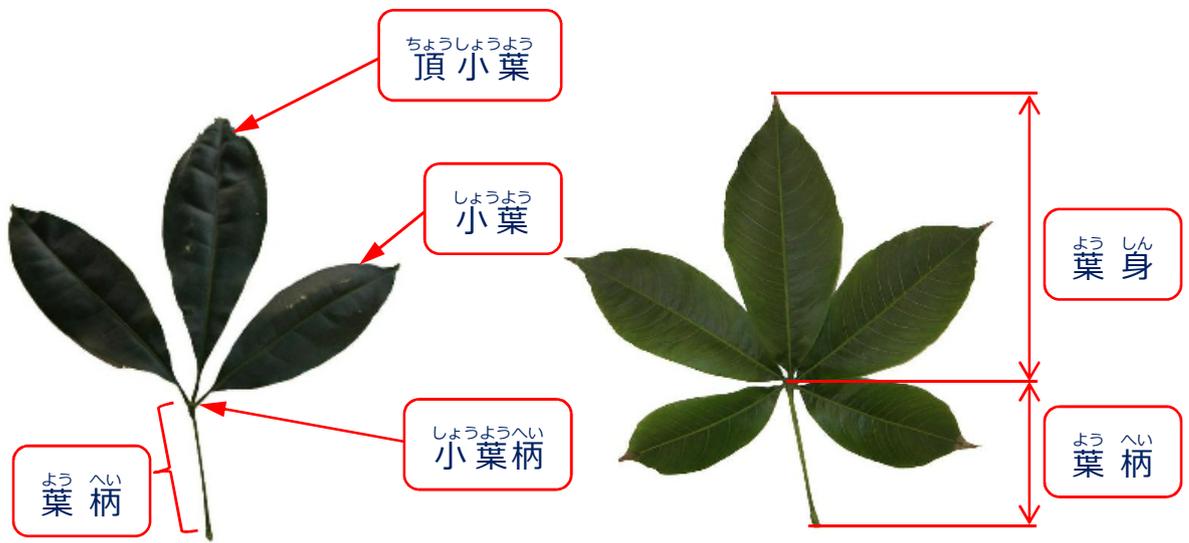
ちやうしょうよう
頂小葉

しょうよう
小葉

しょうようへい
小葉柄

きすうじょうふくよう 奇数羽状複葉
しょうよう 小葉が奇数枚ついています。

ぐすうじょうふくよう 偶数羽状複葉
しょうよう 小葉が偶数枚ついています。



3 出復葉

掌状(5出)復葉

- 托葉 葉身に付属して出来た葉のようなもので、葉柄の上、または葉柄の基部附近の芽の上に出ます。



側生托葉：葉柄の両側にある小さな葉



葉間托葉：対生する葉柄の間にある小さな葉

- 葉の革質 葉が堅く、革のように厚いこと。(ヒメユズリハ、ツゲモチなど)



- 葉の肉質 葉に厚みがあること。(サクララン、イソマツなど)

